

令和5年5月28日

作成：風早北部地域ふるさと協議会

防犯防災部長：古山博之

令和5年度第1回防災活動に関する意見交換会 会議冒頭の部長あいさつ

梅雨入りの季節も間もなく訪れる中での貴重な初夏の週末の日に本会議にご出席をいただき感謝を申し上げます。本日は柏市市民生活部主催の「新任町会長・自治会長等の皆さん向け学習会」とも日程が重なったこともあって、該当の各団体代表者の何名かの皆さまのご臨席が叶わなかったことは誠に残念です。

会議の中でもご案内しますが、本会議は今から9年前から長年定期的開催されてきている貴重な会議であるとともに。当会の他の専門部と異なり、防災ご担当者を委員会形式でご推薦をいただき、必ずしも各団体代表者（すなわち当会理事に就任される方）のみに留まらず、むしろ、防災ご担当者を各団体で専任された中での集まりであることが大きな特徴となっています。これにより、各団体での総会開催にも時間的差異がある中でも、可能な限り各団体の新旧役員が協力し合い、役員交代時期の隙間を補いながら会の運営が成立していることに、今後の地域活動団体の在り方の一面を実現させているものと理解しています。本日ご臨席の市民活動支援課の皆さんには、こうした会議運営の成功例を取り上げ、市全体での住民会議の在り方のご参考にしていただければと考えます。

さて、今年は2月にトルコ・シリア大地震、今月早々に石川県能登半島沖地震、そして先々週には早朝に千葉県房総沖での大きな地震がありました。これ以外にも日本列島各地で小中規模の揺れが確認されています。直近の千葉県を震源とする地震でも、幸いにして柏市はほとんど揺れもなく、本当に自然災害から無縁であることが、将来的に市民のためになるのか、はたまた必ずしもそうでないのか、よくわからない状況が続いています。

一点だけ断言できますのが、こうした災害慣れから縁遠い柏市民や市役所職員に災害不慣れが浸透し、自然災害への普段のリスク管理も自ずと低減、麻痺し、実際に大きな災害が発生した際は、残念ながら柏市にはそれ相応の規模の被害や市民生活への影響が間違いなく及びであろうということです。それを覚悟して、本来は防災に力を注がれる市行政や地域活動を望むところですが、昨年度か

ら始まりました太田市政では、私の印象としましてはこれまでのところ、その前の秋山前市長の時分とほとんど変わらない状況、あるいは、新規で危機管理部という機構が整ったにしては防災行政自体が後退しているのでは？との疑念がぬぐえません。

千葉県内の自治体別の比較では、相当程度に市の防災行政の水準が県内でも下位に低迷している現状を何とか脱却してもらえよう柏市（太田市長）には期待するとともに、市民にはこうした市の執行に頼り過ぎず、公助からの脱却とできる限りの独り立ちをお願いしたいと思います。

本会議もその主旨にて今期においても毎月第四土曜日の午前中を開催日時として皆さまのご参加をお願いし、あわせて今秋には四年ぶりとなる、各避難所を開催場所とした地域一斉防災訓練がより多くの住民参加のもとで実現することを祈念申し上げます。本日はその第一回目の会議となりますので、限られた時間内ではありますが、何卒よろしくお付き合いをお願いいたします。

以 上